

令和3年度 逗子市中部地域包括支援センター事業報告

3年度の重点課題・目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 緊急事態宣言後のフレイルの実態を把握 2. 認知症の人が役割を持って活動できる場を継続 3. 高齢者のお金の相談内容を分類し特徴を捉える
重点課題・目標についての実施報告	<ol style="list-style-type: none"> 1. 実態把握で、フレイルに関するアセスメントシートを活用しフレイル状態を個別に把握した。通いの場を実施し、住民主体で継続できるように働きかけた。感染に留意した介護予防の一つとしてのウォーキングの意識づけを行えるようにマップを住民と作成中。介護予防のための個別ケア会議でもフレイルの方を対象に行い、専門職に支援の視点の助言をもらった。 2. おれんじカフェで、認知症の人が作業を行ったり、畑を耕すことにより自分ができることを確認でき、自信につながった。認知症になっても安心して買い物ができるような商店街を目指し「お店版認知症買い物ガイドブック」を作成中。 3. 個別の相談でお金に関する相談を分類したところ、成年後見、金銭管理といった内容が多数であった。支援の強化を図る必要性が把握できた。
業務名	計 画 内 容
総合相談支援業務	<ol style="list-style-type: none"> 1. 相談内容に応じた継続的支援 <ul style="list-style-type: none"> ・総合相談対応 <u>延 3513 件</u> ・所内において困難ケース等のカンファレンスの適時実施 ・独居高齢者情報交換会への出席 <u>8回 4回書面</u> ・市、社協と随時にカンファレンスを行い情報共有 ・福祉の相談窓口として集会等を利用し住民に周知した。 2. 地域における社会資源把握 <ul style="list-style-type: none"> ・地域サロン・会合等に出席し、関係構築及び情報提供・情報収集 <u>49回</u> ・認知症の人の買い物について居宅介護支援事業所、訪問介護事業所より聞き取りを行った。 居宅介護支援事業所：77人中42人 訪問介護事業所：23事業所中11事業所 3. 地域における関係機関等とのネットワーク構築 <ul style="list-style-type: none"> ・民児協定例会に出席（中部地区、西部地区） <u>20 回</u> ・地域サロン、サポーター集会、会合に出席 <u>48 回</u> ・久木住民自治協議会ふれあい部会に出席 <u>6 回</u> ・Zケア定例会 <u>12回</u>、適正化研修 <u>3回</u>、ケアマネサロン <u>2回</u> ・個別ケースを通じて医療機関と連携（随時） ・逗葉地域在宅医療介護連携室との連携（随時） ・多職種連携会議に出席 <u>1回 ZOOM</u> ・デイサービス、グループホーム、小規模多機能型居宅介護の運営推進会議に出席 <u>書面参加</u> 4. 課題を抱える潜在的な高齢者の把握 <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員や地域安心生活サポート事業と連携し地域の状況を把握 ・地域サロン等に出席し、潜在的ニーズやリスクを把握 ・実態把握事業により、潜在的な課題を抱える方の状況を把握 ・民生委員と協働し、高齢者や気になる方を対象に「お元気確認」のはがきを投函し、返信をしてもらうことにより困りごとの把握を行った。 5. 防災への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・要安否確認者リスト作成及び更新 <u>2 回更新</u> ・防災安全課の津波、土砂災害マップで危険地帯を共有 ・所内会議にて防災マニュアルを通して、対応について検討をした。

<p>権利擁護業務</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 成年後見制度の周知及び利用への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・あんしんセンターや関係機関、市と連携し対応 ・リーガルサポート、コスモス等と連携し制度につないだ ・民協、サロンにて周知をした。 2. 高齢者虐待防止 <ul style="list-style-type: none"> ・市、関係機関と連携し最優先事項として対応 ・虐待ケースをもとに所内でカンファレンスを行い支援方針を検討。 ・サポーター集会や民生委員等へ虐待防止・報告の周知（認知症サポーター養成講座も含む） ・介護者支援の一つとして家族会を継続支援 3. 消費者被害防止 <ul style="list-style-type: none"> ・市：市民協働課、逗子警察署生活安全課・消費生活センターと情報交換 ・地域住民、民生委員、介護保険事業所等へ情報提供
<p>包括的・継続的ケアマネジメント業務</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者の状況に応じた関係機関との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の活動とケアマネの連携を支援 ・個々のケースに応じて、医療機関、関係機関と連携、支援 2. 介護支援専門員に対する支援 <ul style="list-style-type: none"> ・支援困難ケースに対しての後方支援（同行訪問、カンファレンス開催等） ・ケアプランに関する助言 ・ケアマネサロン（勉強会）の共同開催 <u>2</u> 回 ・コロナ禍におけるケアマネジメントに係る緊急アンケート実施（中部包括支援センター主導）（逗子市内全居宅介護支援事業所） ・Zケア内で中部地域包括支援センターでの活動報告を毎月行った。 ・ケアマネサロン内で逗子市内の員インフォーマルサービス、サロン等の情報提供を実施。 3. 介護支援専門員を対象にした研修等による支援 <ul style="list-style-type: none"> ・情報交換、学びの場を開催（ケアマネサロン） ・地域ケア個別会議を開催し、専門職からの助言をもらい事例検討を行った。
<p>介護予防ケアマネジメント業務</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 総合事業対象者に対するケアマネジメント <ul style="list-style-type: none"> ・対象者個々のケースに応じて、ケアマネジメントを実施（簡易フレイル票実施、介護予防手帳の配布、逗子しおかぜ体操等の紹介） 2. 予防給付対象者に対するケアマネジメント <ul style="list-style-type: none"> ・対象者個々のケースに応じて、ケアマネジメントを実施 <p style="margin-left: 40px;"> <u>包括担当利用者</u> <u>延べ</u>給付 <u>1193</u> 件 <u>委託利用者</u> <u>延べ</u>給付 <u>883</u> 件 </p>

<p>認知症に関する取り組み</p>	<p>1. 認知症の理解と対応の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症サポーター養成講座開催（介護に関する入門的研修の枠で開催） <u>1 回</u> <u>16 名参加</u> ・ 逗子中学校認知症勉強会にスタッフとして参加 ・ 自治会にて認知症の勉強会 <u>1 回</u> <u>34 名参加</u> ・ 空き家を利用し認知症の人と畑活動の協働作業を行うことにより、認知症の理解をする場、認知症の人が活躍できる場をつくった。 ・ 地域における認知症の理解を深めるための情報提供 ・ 初期集中支援チーム会議等に参加 <u>10 回</u> <p>2. 認知症高齢者とその家族に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関係機関と連携し支援 ・ 認知症の方と家族介護者の支援として「おれんじカフェ」を継続開催 <u>12 回開催</u> <u>延べ参加人数 132 名</u> ・ おれんじカフェをリモート開催した。 <u>1回</u> ・ 家族会設立 おれんじカフェ開催を家族会の主導と位置付けた。 ・ 当事者の在住の地域で、認知症の方むけにコンサートを行った。 <u>30 名参加</u> ・ おれんじカフェリモート開催事例として医師会と認知症地域支援推進員の研修での報告者として参加
--------------------	--

地域ケア会議	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域ケア会議の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア個別会議 <u>7</u> 回開催 (主な内容：一人暮らしの方への住民主体の生活支援サービス利用や、認知症の人が安心して生活できるようなネットワークについて。若年性認知症の人の買い物の支援について。ケアマネジメント支援のための地域ケア個別会議等) ・地域ケア推進会議 <u>2</u> 回開催 (主な内容：認知症の人が安心して買い物ができる商店に、家族会について等) 2. 地域課題の把握 <ul style="list-style-type: none"> ・個別ケースや地域ケア個別会議より課題を抽出 ・サロン参加及び民生委員、自治会等と情報交換 3. 地域課題の解決に向けた取組み <ul style="list-style-type: none"> ・抽出された課題を分析し、具体的な解決案を検討・共有 ・解決に向けて取り組める課題については関係機関と協力し対応 ・次年度の地域ケア推進会議のテーマとして進める
重層的体制整備事業	<ol style="list-style-type: none"> 1 断らない相談 <ul style="list-style-type: none"> ・個別の相談を通して、関係機関とつながり支援の方向性を検討した。 2 多世代の人が同じ時間を過ごせる居場所を、住民と一緒につくった。 3 閉じこもり支援について社会福祉協議会と協働し今後のことについて検討をした。
生活支援体制整備についての取組み	<ol style="list-style-type: none"> 1. 生活支援コーディネーターによる取組み <ul style="list-style-type: none"> ・民児協・自治会福祉部への参加 ・コロナ自粛後のサロン再開に向けての話し合いを実施。 <u>1</u>回 ・逗子しおかぜ体操を通じて、介護予防、地域づくりの取組みを継続支援 2か所継続活動 来年度休止していた地域再開予定 ・多様なサービス検討会に参加 <u>1</u>回 ・市内の居宅介護支援専門員（77名中42名）、訪問介護事業所（23事業所中11事業所）に「高齢者の買い物について」のアンケート調査を実施。前年度の取組みと合わせてお店版「認知症買い物ガイド」を作成中。 ・コロナ禍でも継続してできる介護予防の取組みとして地域住民と共に。「ウォーキングマップ」の作成中。作成にあたり2回ウォーキングイベントを開催。 ・週1回住民主体で実施するための「ラジオ体操の」継続支援 ・民生委員主体による「はがきによるお元気確認」の取組みを支援。 ・前年度推進会議から抽出されたフレイル予防の取組みを「通いの場」として専門職と協働して行った。 <u>9</u>回 2. 協議体の設置に向けた取組み <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と協議体の機能や役割を協議 3. 第1層生活支援コーディネーターとの連携 <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に協議し、協働して取り組む <u>打合回数 12</u> 回
一般介護予防事業	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護予防実態把握事業 <ul style="list-style-type: none"> ・生活機能低下リスクのある高齢者に対して訪問等実施 対応者数 <u>176</u> 名 (内訪問者 <u>41</u> 名) ・訪問につながらない場合、電話で状況を聞き取り、必要な情報提供 ・コロナフレイルを把握するため、フレイルチェック表を用いて確認。個別の内容をもとに個人にあった、情報提供を行った。

<p>広報活動、 運営体制等</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 広報活動 <ul style="list-style-type: none"> ・地域サロン、自治会活動、民生委員の会合等でチラシを配布 ・社協ホームページを利用し周知 2. 職員間の連携、情報共有 <ul style="list-style-type: none"> ・毎日ミーティングを開催。ケース対応や検討事項等を協議、共有 ・職員会議で困難ケース、地域での取組み、業務バランス等について協議 3. 個人情報保護に関する取り組み <ul style="list-style-type: none"> ・個人ファイル等について持出する際の管理 ・個人情報に関する記録等を適切に管理 4. 利用者満足度の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・苦情対応について管理者を中心に対応し、センター内及び本部とも共有 ・苦情、要望などについて市に報告し、連携して対応 5. 職員の資質向上 <ul style="list-style-type: none"> ・リモート研修など、内容を選び、職員全体で視聴した。 ・困難事例等のカンファレンスの前に、職員全体で事例を検討し課題を共有した。 6. その他 <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉士養成校からの実習生受け入れ <u>2名</u>
------------------------	---

令和3年度 逗子市中部地域包括支援センター決算書

1 収入の部

大項目	小項目	令和2年度予算額	令和2年度決算額	令和3年度予算額	令和3年度決算額	摘 要
逗子市受託金収入		25,100,000	25,442,970	31,136,000	30,560,393	
	基本額	25,100,000	25,442,970	25,100,000	25,460,000	
	時間延長経費	0	0	360,000	0	基本額に含む
	土曜開所日経費	0	0	176,000	77,638	
	多機関協働事業	0	0	4,400,000	4,018,204	
	参加支援事業	0	0	1,100,000	1,004,551	
介護保険収入		5,633,000	6,160,585	5,886,000	6,237,058	
	介護予防支援料収入	5,633,000	6,160,585	5,886,000	6,237,058	
その他収入		4,842,000	4,407,600	1,057,000	91,900	
	法人からの繰入金	4,589,000	4,010,000	864,000	0	
	介護保険住宅改修理由書作成手数料	43,000	19,800	43,000	28,600	
	介護予防実態把握事業	210,000	73,500	150,000	61,500	介護予防実態把握事業
	研修会等参加費	0	7,300	0	1,800	おれんじカフェ
	その他	0	297,000	0	0	
収入合計		35,575,000	36,011,155	38,079,000	36,889,351	

2 支出の部

大項目	小項目	令和2年度予算額	令和2年度決算額	令和3年度予算額	令和3年度決算額	摘 要
人件費		34,678,000	34,783,469	36,531,000	35,442,124	
	職員俸給	16,256,000	16,629,600	16,460,000	14,989,200	正職員5名→4名
	職員諸手当	10,923,000	12,192,645	12,135,000	11,660,167	
	法定福利費	4,823,000	4,740,224	5,172,000	4,845,357	
	非常勤職員給与	2,160,000	750,000	2,218,000	3,141,600	契約職員1名→2名
	賃金	0	0	0	382,800	
	その他	516,000	471,000	546,000	423,000	退職共済掛金
事務費		897,000	1,350,119	1,548,000	1,103,688	
	福利厚生費	96,000	86,746	111,000	94,512	
	旅費交通費	45,000	2,280	45,000	5,330	研修交通費等
	研修費	10,000	0	10,000	4,000	
	諸謝金	0	0	0	0	
	消耗品費	150,000	411,363	215,000	302,165	感染症対策物品等
	消耗器具備品費	0	58,000	0		
	図書購入費	0	0	0	0	
	車両費	0	0	0	0	
	燃料費	0	0	0	0	
	水道光熱費	180,000	126,358	138,000	128,670	電気代、水道代
	燃料費	10,000	16,450	18,000	32,167	
	通信運搬費	360,000	367,320	393,000	390,117	電話代等
	会議費	20,000	5,385	20,000	0	
	修繕費	10,000	7,370	10,000	34,213	
	租税公課	15,000	-3,500	512,000	4,500	
	賃借料	0	0		0	
	手数料	1,000	3,830	7,000	15,840	
	保険料	0	18,440	14,000	12,610	
	業務委託費	0	73,762	55,000	19,564	他県予防給付委託等
	雑支出	0	7,685	0		
	保守料	0	0	0	60,000	国保連伝送ソフト
	車両運搬具取得支出	0	168,630	0		
その他		0	0	0	0	
支出合計		35,575,000	36,133,588	38,079,000	36,545,812	

期末収支差額	▲ 122,433	343,539	
--------	-----------	---------	--

今年度の重点課題	課題項目	今年度の行動目標・到達目標	達成状況 (該当を■)	1 達成状況の根拠・理由	2 今後の改善策 (一部未達成・未達成)	改善完了時期	完了確認
緊急事態宣言後のフレイルの実態を把握	1	認知症の方が役割をもって活動できる場を継続	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 未達成	通いの場の「フレイル予防教室」には、活動の幅が狭くなってしまったスタッフの委員と、実態把握事業で把握されたフレイルの状態の方と合同の教室が開催できた。	フレイル教室参加の継続について、達成できていない。	R5.3.31	
	2	高齢者のお金に関する相談内容を分類し特徴を捉える	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 未達成	・空き家での活動やおれんじカフェ等での活躍できる場をつくる。 ・総合相談の中で、お金に関する相談の内容を分類し、特徴をつかむ。	今年度は、継続的に活動ができるように、担い手の幅を広げていく。		
	3	事業共通	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 未達成	・職員の退職、包括化推進員の配置の必要から、職員が専門性を発揮できるよう、事務の負担を減らすため、事務員を配置した。 ・「サポーター集会、サロンなどを通して各地域の特色を把握し、それぞれの地域に合った視点で事業運営に努めた。 ・行政、各センターと連携をし、役割を確認しながら効果的な取り組みができた。	職員の配置ができた際には、土曜日開設等を検討していく。	R4.6.1	
1	適正な人員の確保： 地域の高齢化の状況、相談件数の増加、困難事例の対応等を勘案し、包括的支援事業及び地域支援事業に係る活動を行なえる適切な人員体制を確保する。	法人本部と連携をし、適切な人員、待遇を確保	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 未達成	・職員との退職、包括化推進員の配置の必要から、職員が専門性を発揮できるよう、事務の負担を減らすため、事務員を配置した。			
2	事業計画の策定： 地域の事情に応じ、「地域包括支援センター運営方針」(血業務推進の指針-1(2)ア〜エ)の内容を踏まえ、重点課題・重点目標を設定、各地域での特色ある創意工夫した事業運営に努める。	地域特性に応じた取り組みを実施	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 未達成	・「サポーター集会、サロンなどを通して各地域の特色を把握し、それぞれの地域に合った視点で事業運営に努めた。			
3	各センターにおける役割分担と連携の強化： 地域の課題や目標をセンター間で共有しながらセンターが相互に連携する効果的な取り組みを推進する。	市主催の包括連絡会や各種の会合に参加をし、情報共有、連携	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 未達成	・行政、各センターと連携をし、役割を確認しながら効果的な取り組みができた。			
4	効果的な運営の向上と継続： 効率性中立性の確保や効果的な取り組みの充実を図ると共に、不十分な点は改善に向けた取り組みを行う。	業務進行表により、半期に一度、事業の進捗状況を確認し、修正をした。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 未達成	・3職種の専門性を生かせる分業をし、各職員に進捗状況を確認した。所内会議にて、改善点等を把握し、修正などを行った。			
5	個人情報等の保護： 有する高齢者等の情報が業務に關係のない目的で使用していない。また、有する個人情報情報が漏れないよう、情報管理を徹底する。			※唯一3記帳により本表記載省略可			
6	相談しやすい相談体制の構築： 平日以外や夜間、早朝の窓口(連絡先)とパンフレットや広報紙等を作成・配布等により、地域住民及び関係者へ積極的にその業務内容や運営状況等を幅広く周知し、住民理解の促進と専門職間の連携強化を図り、相談しやすい体制を構築する。	土曜日開所の安定 ・パンフレットの配布	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 未達成	・職員の退職等で、日中の相談等が薄くなる中、平日の職員体制を整える必要性があり、毎週土曜開催ができていなかった。事業内容を広げたパンフレットの作り替えを行った。			

3×6項目

課題項目		今年度の 行動目標・到達目標	達成状況 (該当を■)	1 達成状況の根拠・理由	2 今後の改善策 (一部未達成・未達成)	改善完了時期	完了確認
I 総合相談支援業務							
1 初期段階の対応や相談内容に依じた継続的支援	① 定期的な状況を確認するなど、状況に応じた継続的な支援を実施 ② 相談事例の最終条件を市と協議し定め、共有すると共に、ケースがまたは紙面で整備する	必要ケースには、予定表にて職員間で共有し、定期的な訪問や電話などで確認した。必要に応じて支援をする。 支援困難な事例については、所内でカンファレンスを行い、支援の方向性を検討し、職員の意識向上も図った。	□ 達成 ■ 一部未達成 □ 未達成	・市内会議にて、状況を共有し、支援の方向性を検討した。 ・支援困難ケースの方針の検討を主に市を中心としてカンファレンスを行い、共通理解を得ている。記録については稟議をし、ケアイルに取組んでいる。 ・外から一瞥わかりやすい場所に相談室を設置し、相談時には、窓を閉め、プライバシーに配慮した。	市とのカンファレンスの中では、最終条件を協議するまでできていない。		
						相談室は、わかりやすい場所にあり、プライバシーに配慮	相談室を設け、感染に配慮をし、話しやすい環境を作る。
2 相談受付体制の整備	① パンジーに配慮	地域(インフォーマル)を含めた社会資源の把握や情報の収集を継続し、依頼があれば提供(例:パンフレットやマップ、リスト活用など)	■ 達成 □ 一部未達成 □ 未達成	・市内会議によつての関係性が違う。 ・淳子小学校区については、住民自治協議会がない。 ・人とのつながりの中でキーになる人を把握し情報を得られる関係を作ってきた。	・市人宅に手紙が届いてすぐに電話ができるようにし、1か月以内に訪問できるようにしていく。		
3 地域における社会資源把握	① <input type="checkbox"/> 自治会・町内会 <input type="checkbox"/> 住民自治協議会 <input type="checkbox"/> 老人クラブ <input type="checkbox"/> 民生委員児童委員 <input type="checkbox"/> 警察署 <input type="checkbox"/> 消防署 <input type="checkbox"/> 社会福祉協議会 <input type="checkbox"/> 保健福祉事務所 <input type="checkbox"/> 病院・診療所・薬局 <input type="checkbox"/> お互いさまサポーター <input type="checkbox"/> 認知症サポーター <input type="checkbox"/> ボランティア団体・NPO <input type="checkbox"/> 居宅介護支援事業所 <input type="checkbox"/> △(介護保険)サービス事業所 <input type="checkbox"/> △商店街 <input type="checkbox"/> △その他...	社協作成の生活支援サービスの取り寄せて、提供できるように整備する。	■ 達成 □ 一部未達成 □ 未達成	・市内会議によつての関係性が違う。 ・淳子小学校区については、住民自治協議会がない。 ・人とのつながりの中でキーになる人を把握し情報を得られる関係を作ってきた。	・市人宅に手紙が届いてすぐに電話ができるようにし、1か月以内に訪問できるようにしていく。		
4 連携(課題共有と協働の取組)がある⇒ 連携する予定がある⇒A	①	民生委員や自治会の関係者、住民から情報を得る。	□ 達成 ■ 一部未達成 □ 未達成	・市内会議によつての関係性が違う。 ・淳子小学校区については、住民自治協議会がない。 ・人とのつながりの中でキーになる人を把握し情報を得られる関係を作ってきた。(非牟利の電話かと思われるなど)	・市人宅に手紙が届いてすぐに電話ができるようにし、1か月以内に訪問できるようにしていく。		
5 地域における高齢者の実態把握	②	潜在的な課題やニーズのある高齢者情報を得るルートを開拓・維持している。	□ 達成 ■ 一部未達成 □ 未達成	・市内会議によつての関係性が違う。 ・淳子小学校区については、住民自治協議会がない。 ・人とのつながりの中でキーになる人を把握し情報を得られる関係を作ってきた。(非牟利の電話かと思われるなど)	・市人宅に手紙が届いてすぐに電話ができるようにし、1か月以内に訪問できるようにしていく。		

課 題 項 目	今年度の 行動目標・到達目標	達成状況 (該当を■)	1. 達成状況の根拠・理由	2. 今後の改善策 (一部未達成・未達成)	改善完了時期	完了確認						
6 防災への対応	① 地域包括支援センターで関わっている高齢者の中で、災害時に援護が必要な人の安否確認用リストを作成・更新	■達成 □一部未達成 □未達成	・新たに担当になった人や、担当から引かれた人の把握ができた。									
							③ 情報収集し課題を分析したうえでニーズを把握し、適切な助言やサービスを提供している。	同じような課題が出てきた際に、課題を分析しニーズを把握する感性を磨く。	・同じような課題が出てきた際に、課題を分析しニーズを把握する感性を磨く。			
							② 地域包括支援センターで関わっている高齢者の中で、災害時に援護が必要な人の安否確認用リストを作成・更新	安否確認用にリストを年2回は見直しを行う。				
II 権利擁護業務												
1 成年後見制度	① 成年後見制度を十分理解し、関係機関と連携しながら利用者を支援 ② 地域の高齢者及び関係機関に対して制度を周知	■達成 □一部未達成 □未達成	・制度の利用が必須な方へ、個別に説明をしたり、専門職と連携したりすることができた。 ・社会福祉士主催で、ケアマネジャー向けに成年後見に関する研修会を行った。									
							① 相談内容は、地域包括支援センター内で共有し、支援方針を検討の上、関係機関と連携し対応	第一として、市への報告連携。所内での、カンファレンスにて支援方針を検討後、事実確認を行う。				
							② 関係機関等を対象とする研修や、情報提供による虐待防止の普及啓発	・包括内で、虐待に関する考え方を広げるための法人と連携し所内研修会を行う。	・家族システム論からの虐待の捉え方を学ぶための、研修会が開催できた。			
							③ 虐待相談・通報先は地域包括支援センターであること、さまざまな機会を利用して周知	・さまざまな機会を通して周知する。	・民間協や、サロン、ケアなどを通して、連絡先等に周知を行っている。	・高齢者虐待防止ネットワークなどはできていない。		
2 虐待防止	④ 早期に状況を把握できる高齢者虐待防止ネットワークを構築に努める	■達成 □一部未達成 □未達成	・サロンや民間協への参加を通して、住民へ周知をしていく。									
							① 地域サロンやイベントに出向いたり、チラシ配布等による高齢者及び関係機関に対する消費者被害防止の普及啓発を実施	・各関係機関から得た情報を共有し、社会福祉士の会の中で作成をした包括通信などで地域サロンやイベントを通じて、伝えることができた。				
							② 市消費生活担当課と定期的に情報交換を実施し、高齢者や関係者へ情報を提供している	・警察署や市役所の生活安全課と連携をし情報収集と地域への提供を行う。				
3 消費者被害防止		■達成 □一部未達成 □未達成										

課題項目		今年度の 行動目標・到達目標	達成状況 (該当を■)	1 達成状況の根拠・理由	2 今後の改善策 (一部未達成・未達成)	改善完了 時期	完了確 認
Ⅲ 包括的・継続的ケアマネジメント							
1 利用者の状 態に応じた 関係機関と の連携	① 個々のケースにおいて、医療機関や介護 支援専門員、介護施設等との連携への工 夫	ケースに応じて関係機関と連携し 情報交換、困難な事例について は、一緒に支援等を検討する。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 一部未達 <input type="checkbox"/> 未達成	・個別ケア会議、ケアマネサロンの、個 別の相談を通して関係機関とのカン ファレンス等により支援の方向性を 決めた。相談内容によっては、イン フォーマルな社会資源の提供を行っ た。積極的に、地域の集会等に参加 をし、顔の見える関係を築き、情報 共有がしやすくなっている。			
	② 民生委員児童委員や自治会、地域の協力 団体等と顔の見える関係が築かれ、地域 情報や課題の共有の機会がある	民生協や自治会と顔の見える関係 を作ることにより、相談しやすい関 係を作る。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 一部未達 <input type="checkbox"/> 未達成	・インフォーマルなサービスについて、 ペンフレットを集め、閲覧できる ようにした。相談がおりま情報提供 をした。 ・地域ケア推進会議などを利用して、 商店街の方々と福祉事業者が情報 交換をする場を設けた。 ・支援困難事例で相談があった場合 には、3職種種の専門性を生かした職 員が相談を受け、後方支援をするよ うにした。 ・委託先へ、PDCAサイクルを書類に て確認し必要な助言をした。 ・地域へ出る機会や、民生協などに ついて介護予防の必要性について 必要性を周知した。 ・ケアマネを対象としたケアマネサロ ンの中で、蓮子市尺のインフォーマ ルサービスを紹介する場を設け、関 係資料、チラシの配布を行った。 ・サロンやおれんじカフェ、家探会を 通して介護予防、自立支援に関する 講話、チラシ配布を行った。 ・市内の介護支援専門員を対象に、 コロナ禍において支援困難になっ ている利用者についてのアンケートを 実施した。 ・介護予防のための地域ケア個別会議 を定期的に開催し、専門家からの助言で、 支援の場点が広がった。 ・介護予防のための地域ケア個別会議 内で、課題達成を図れた。 ・ケアマネサロンの研修会では、主任ケ アマネジャーの更新要件の内容のため、 受講証明書の発行ができるように市へ 交渉した。			
	③ 地域の介護支援専門員が介護保険サービ ス以外の社会資源(サロン、ボランティア活 動等)を活用できるよう情報を提供	個々のケースに応じて、地域の社 会資源などの情報を渡したり、ペン フレットを用意したりする。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 一部未達 <input type="checkbox"/> 未達成	・インフォーマルなサービスについて、 ペンフレットを集め、閲覧できる ようにした。相談がおりま情報提供 をした。 ・地域ケア推進会議などを利用して、 商店街の方々と福祉事業者が情報 交換をする場を設けた。 ・支援困難事例で相談があった場合 には、3職種種の専門性を生かした職 員が相談を受け、後方支援をするよ うにした。 ・委託先へ、PDCAサイクルを書類に て確認し必要な助言をした。 ・地域へ出る機会や、民生協などに ついて介護予防の必要性について 必要性を周知した。 ・ケアマネを対象としたケアマネサロ ンの中で、蓮子市尺のインフォーマ ルサービスを紹介する場を設け、関 係資料、チラシの配布を行った。 ・サロンやおれんじカフェ、家探会を 通して介護予防、自立支援に関する 講話、チラシ配布を行った。 ・市内の介護支援専門員を対象に、 コロナ禍において支援困難になっ ている利用者についてのアンケートを 実施した。 ・介護予防のための地域ケア個別会議 を定期的に開催し、専門家からの助言で、 支援の場点が広がった。 ・介護予防のための地域ケア個別会議 内で、課題達成を図れた。 ・ケアマネサロンの研修会では、主任ケ アマネジャーの更新要件の内容のため、 受講証明書の発行ができるように市へ 交渉した。			
2 地域におけ るケアマネジ メントの個別 支援と環境 の整備	④ ケアマネジメント業務の委託先へ、個別指 導を実施し業務の適正化を図る。	ケアプラン、その他の必要書類を 確認し、必要に応じて助言する。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 一部未達 <input type="checkbox"/> 未達成	・委託先へ、PDCAサイクルを書類に て確認し必要な助言をした。 ・地域へ出る機会や、民生協などに ついて介護予防の必要性について 必要性を周知した。 ・ケアマネを対象としたケアマネサロ ンの中で、蓮子市尺のインフォーマ ルサービスを紹介する場を設け、関 係資料、チラシの配布を行った。 ・サロンやおれんじカフェ、家探会を 通して介護予防、自立支援に関する 講話、チラシ配布を行った。 ・市内の介護支援専門員を対象に、 コロナ禍において支援困難になっ ている利用者についてのアンケートを 実施した。 ・介護予防のための地域ケア個別会議 を定期的に開催し、専門家からの助言で、 支援の場点が広がった。 ・介護予防のための地域ケア個別会議 内で、課題達成を図れた。 ・ケアマネサロンの研修会では、主任ケ アマネジャーの更新要件の内容のため、 受講証明書の発行ができるように市へ 交渉した。			
	⑤ 介護支援専門員を含めた地域のネットワー クにおいて、関係者が協力し問題解決が図 れるよう地域ケア会議などを活用	地域ケア会議等を通して、関係機 関と協力して問題解決が図れるよ うにする。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 一部未達 <input type="checkbox"/> 未達成	・委託先へ、PDCAサイクルを書類に て確認し必要な助言をした。 ・地域へ出る機会や、民生協などに ついて介護予防の必要性について 必要性を周知した。 ・ケアマネを対象としたケアマネサロ ンの中で、蓮子市尺のインフォーマ ルサービスを紹介する場を設け、関 係資料、チラシの配布を行った。 ・サロンやおれんじカフェ、家探会を 通して介護予防、自立支援に関する 講話、チラシ配布を行った。 ・市内の介護支援専門員を対象に、 コロナ禍において支援困難になっ ている利用者についてのアンケートを 実施した。 ・介護予防のための地域ケア個別会議 を定期的に開催し、専門家からの助言で、 支援の場点が広がった。 ・介護予防のための地域ケア個別会議 内で、課題達成を図れた。 ・ケアマネサロンの研修会では、主任ケ アマネジャーの更新要件の内容のため、 受講証明書の発行ができるように市へ 交渉した。			
	⑥ 介護支援専門員が円滑に業務ができるよ う、地域住民に対して介護予防、自立支援 に関する意識の共有を図るための出前講 座等を開催しているか	サロンやお互いの様活動への参加を 通して、介護予防の意識を高め る。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 一部未達 <input type="checkbox"/> 未達成	・委託先へ、PDCAサイクルを書類に て確認し必要な助言をした。 ・地域へ出る機会や、民生協などに ついて介護予防の必要性について 必要性を周知した。 ・ケアマネを対象としたケアマネサロ ンの中で、蓮子市尺のインフォーマ ルサービスを紹介する場を設け、関 係資料、チラシの配布を行った。 ・サロンやおれんじカフェ、家探会を 通して介護予防、自立支援に関する 講話、チラシ配布を行った。 ・市内の介護支援専門員を対象に、 コロナ禍において支援困難になっ ている利用者についてのアンケートを 実施した。 ・介護予防のための地域ケア個別会議 を定期的に開催し、専門家からの助言で、 支援の場点が広がった。 ・介護予防のための地域ケア個別会議 内で、課題達成を図れた。 ・ケアマネサロンの研修会では、主任ケ アマネジャーの更新要件の内容のため、 受講証明書の発行ができるように市へ 交渉した。			
	3 介護支援専 門員を対象 にした研修 等による支 援	① 介護支援専門員の資質向上につながる テーマでの研修会等実施や、介護支援専 門員相互の情報交換を行う場の設定して いる。	・ケアマネサロンで研修会や情報 交換の場を設ける。。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 一部未達 <input type="checkbox"/> 未達成	・委託先へ、PDCAサイクルを書類に て確認し必要な助言をした。 ・地域へ出る機会や、民生協などに ついて介護予防の必要性について 必要性を周知した。 ・ケアマネを対象としたケアマネサロ ンの中で、蓮子市尺のインフォーマ ルサービスを紹介する場を設け、関 係資料、チラシの配布を行った。 ・サロンやおれんじカフェ、家探会を 通して介護予防、自立支援に関する 講話、チラシ配布を行った。 ・市内の介護支援専門員を対象に、 コロナ禍において支援困難になっ ている利用者についてのアンケートを 実施した。 ・介護予防のための地域ケア個別会議 を定期的に開催し、専門家からの助言で、 支援の場点が広がった。 ・介護予防のための地域ケア個別会議 内で、課題達成を図れた。 ・ケアマネサロンの研修会では、主任ケ アマネジャーの更新要件の内容のため、 受講証明書の発行ができるように市へ 交渉した。		
② 地域ケア会議への参加協力を促し、支援困 難事例の検討や自立支援に資するケアマ ネジメントの検討している。		・自立支援、重症化防止に資する 地域ケア会議を行う。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 一部未達 <input type="checkbox"/> 未達成	・委託先へ、PDCAサイクルを書類に て確認し必要な助言をした。 ・地域へ出る機会や、民生協などに ついて介護予防の必要性について 必要性を周知した。 ・ケアマネを対象としたケアマネサロ ンの中で、蓮子市尺のインフォーマ ルサービスを紹介する場を設け、関 係資料、チラシの配布を行った。 ・サロンやおれんじカフェ、家探会を 通して介護予防、自立支援に関する 講話、チラシ配布を行った。 ・市内の介護支援専門員を対象に、 コロナ禍において支援困難になっ ている利用者についてのアンケートを 実施した。 ・介護予防のための地域ケア個別会議 を定期的に開催し、専門家からの助言で、 支援の場点が広がった。 ・介護予防のための地域ケア個別会議 内で、課題達成を図れた。 ・ケアマネサロンの研修会では、主任ケ アマネジャーの更新要件の内容のため、 受講証明書の発行ができるように市へ 交渉した。			

課題項目	今年度の行動目標・到達目標	達成状況 (該当を■)	1. 達成状況の根拠・理由	2. 今後の改善策 (一部未達成・未達成)	改善完了時期	完了確認	
IV 介護予防ケアマネジメント	<p>① 「したい」ができるようになりたいを現実化する生活行為を目標とし、「心身機能」「活動」「参加」の視点を踏まえた支援を行っている</p> <p>② 自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントに関し、市から示された基本方針をセンター職員及び委託先の居宅介護支援事業所に周知している</p> <p>③ 利用者のセルフマネジメントを推進するため、市から示された支援の手法を活用しているか</p> <p>④ 介護予防・機能向上プログラム(通所型)や住民主体による支援(B型)を活用し、要支援者、事業対象者の状態改善につなげた</p>	<p>①CFの視点を踏まえ、本人の能力と意欲を引き出せるような声かけ、働きかけを行う。</p> <p>②基本方針をセンター内で確認すると共にケアマネサロン等でも周知していく。</p> <p>③市から提示された活動を、啓発する。</p> <p>④アセスメント結果により適切な事業につなぐ。</p>	<p>■ 達成 □ 一部未達成 □ 未達成</p>	<p>①、②、③介護予防のための地域ケア会議内では阻害要因の解決に向けてアロウチャートを使い具体的に検討した。興味関心やニーズシートを使用し、本人の希望や残存機能を確認した上で専門職からの適切な助言をプログラムにつなげることができた。来年から公開予定。</p> <p>④コロナ禍では、即時中止になってしまったため予定が立てにくく定期支援にはなりにくかった。</p>			
V 認知症に関する取り組み	<p>① 認知症地域支援推進員を中心に、関係機関の連携支援を行うとともに、認知症の人やその家族を支援</p> <p>② 認知症サポーター養成講座等を活用し、地域の認知症への理解、対応能力を向上</p> <p>③ キヤラバンイベント、認知症サポーターが継続的に活動できるよう支援</p> <p>④ その他、認知症への理解、対応の普及啓発活動を実施</p>	<p>おれんじカフェや家族会を通して家族支援できる場を継続</p> <p>認知症サポーター養成講座や認知症の理解に関する講座を地域で行う。</p> <p>市と連携しフォアアツツ研修等を開催</p> <p>商店街との地域ケア会議を通して普及啓発方法を検討する。</p>	<p>■ 一部未達成 □ 未達成</p>	<p>・おれんじカフェの定期開催、家族会の立ち上げ、継続支援を行っている。</p> <p>・サポーター養成講座を終えた方の活動場所として、個別の話し合い手を紹介することができた。</p> <p>・一部自治会へ認知症理解のための講座を開催した。</p> <p>・商店街へ、認知症に関する聞き取りを行うことにより、認知症の理解を得ることができた。</p>			
認知症の正しい理解の普及・啓発等							

課題項目		今年度の 行動目標・到達目標	達成状況 (該当を■)	1. 達成状況の根拠・理由	2. 今後の改善策 (一部未達成・未達成)	改善完了 時期	完了確認	
VI 地域ケア会議・地域課題								
1 地域ケア会議の開催・地域課題の把握・課題解決に向けた取り組み	① 地域ケア個別会議と地域ケア推進会議を開催した	地域ケア個別会議、地域ケア推進会議を行う。	■ 達成 □ 一部未達成 □ 未達成	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の関わりやネットワークが必要となるについては、地域ケア個別会議を開催しネットワークの構築や、地域への理解を得ることができた。 ・地域ケア推進会議を行ったことにより、商店街と顔の見える関係ができて、商店から高齢者に関する情報を得ることができた。 ・市での個別ケア会議のみでなく、包括内でも同様な形でケア会議を行い、支援者の気づきや意識づけに役立った。 ・認知症の買い物支援に関する課題から、居宅支援事業所や訪問介護事業所にアンケート調査を行い、その結果をもとに多職種の人と地域ケア推進会議を行った。その結果、認知症買い物サイトを作成し、商店街への認知症の啓発と商店街が困った際の連絡先の周知を行う方向性が生まれた。 				
	② ケアマネジメント支援のための地域ケア会議をリハビリテーション専門職等を活用して開催した	介護予防のための個別ケア会議を定期的に行う。	■ 達成 □ 一部未達成 □ 未達成					
	③ 介護予防のための地域ケア会議に事例提供し、自らのケアマネジメントに意見を反映した	市役所で行っている介護予防のための個別ケア個別会議に事例を提供し、支援に反映させた。	■ 達成 □ 一部未達成 □ 未達成					
	④ 地域ケア会議で個別ケースの課題分析等を積み重ね、地域課題を把握	地域ケア個別会議や総合相談の中から、課題に気づき分析を行う。	■ 達成 □ 一部未達成 □ 未達成					
	⑤ 把握した地域課題の解決に向けた取り組みの実施	昨年度の、課題の分析を基に、地域ケア推進会議を行った。	■ 達成 □ 一部未達成 □ 未達成					
	⑥ 地域課題を地域包括ケア会議の議題として提出	地域包括ケア会議で地域ケア推進会議等の内容を報告する。	■ 達成 □ 一部未達成 □ 未達成					
VII 生活支援体制整備の取り組み								
1 生活支援コーディネーター業務	① 養成研修を受講した職員配置している	養成研修を受講した職員配置する。	■ 達成 □ 一部未達成 □ 未達成	<ul style="list-style-type: none"> ・養成研修の終了後を配属している。 ・個別のケースを通じて、住民主体の支援ができるよう、地域のコーディネーターと共に調整をした。 ・認知症の方の買い物支援を個別ケア会議で取り上げ、商店とのネットワークができた。 				
	② 資源開発(生活支援の担い手の養成やサービス開発等)を行なった	地域課題を検討し、資源開発に取り組み	■ 達成 □ 一部未達成 □ 未達成					
	③ 新たなネットワーク構築(関係者のネットワーク化)を行なった	地域ケア会議の開催を通じて、新たなネットワークを構築する。	■ 達成 □ 一部未達成 □ 未達成					
	④ 地域ニーズと取り組み・サービスのマッチングを行なった	個別の地域のニーズが出た際にサービスのマッチングを行う	■ 達成 □ 一部未達成 □ 未達成					
	⑤ 多様な主体による多様な取り組みのコーディネート業務を行った	地域における様々な社会資源を利用するための支援を行う。	■ 達成 □ 一部未達成 □ 未達成					

課題項目		今年度の行動目標・到達目標	達成状況 (該当を■)	1. 達成状況の根拠・理由	2. 今後の改善策 (一部未達成・未達成)	改善完了時期	完了確認
第1層コーポレートとの連携、協議体の設置	<p>① 地域における①～⑥の取組みを総合的に支援・推進する</p> <p>② 地域ネットワークと資源の状況の見える化、問題提起</p> <p>③ 地域ネットワーク等多様な主体への協力依頼などの働きかけ</p> <p>④ 関係者のネットワーク化</p> <p>⑤ 目指す地域の姿・方針の共有、意識統一</p> <p>⑥ 生活支援の担い手の養成やサービスの開発</p> <p>⑦ ニーズとサービスのマッチング</p>	住民自治協議会やふれあい部会に参加をする。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 未達成	・同一住民協の中でも、生活支援サービスの受け入れが担い手により違う。その地域の課題を提示することにより、住民の意識が高まったが、活動にまでつなげることができなかった。	・今後も、課題を確認しながら、担い手探しや、生活支援サービスの受け入れられるように、個別の支援を通して活動の必要性について、理解を深めていく。		
		・サポーター集会等で、地域の統計的な情報などを伝え、一緒に課題出しを行い、各地域での目指す姿など共有する。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 未達成				
Ⅳ 地域への広報活動、運営体制等		① 地域の見え、継続的な広報活動	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 未達成	新規事業の内容の周知のため、閲覧したりパンフレットを配布した。			
1 地域への広報活動	① 地域の見え、継続的な広報活動	① 地域の見え、継続的な広報活動	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 未達成	毎朝のミーティングで相談の内容を完全に周知し、記録にて各自でチェックを行う。	・業務量の点検を随時行っていくこととする。		
		② 地域包括支援センターの業務全体をマネジメントする	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 未達成	毎朝のミーティングと月1回行う所内会議において情報共有をする。担当各職員の職種を生かした業務分担当表や事業計画に沿った担当を決め、半期に1度各担当に進捗状況を確認する。残業や休日出勤をする場合は前もって管理者へ相談を許可の下時間を決め残業をする。			
		③ 職員の担当業務量の適正化 ・残業や休日出勤	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 未達成	・行動予定表にて、個人情報の持ち出しを確認し、持ち出した情報を戻す際に、チェックを行う。 ・個人情報報は、鍵のついていないキーボードにて保管をし、訪問時なども留意をする。	・定時での帰宅が難しく、業務量の適正化ができていない。		
2 職員の職務分担及び連携	① 個人情報を外部に持ち出す場合に備え、台帳・確認票等を利用してチェックする体制を整備	① 個人情報を外部に持ち出す場合に備え、台帳・確認票等を利用してチェックする体制を整備	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 未達成	行動予定表にて、個人情報の出し入れのチェックを行うことができた。	・今後も、個人情報が出ていないか確認して自席を離れるようにする。		
		② 個人情報報を鍵つきのキーボード等に保管し、鍵を適切に管理	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 一部未達成 <input type="checkbox"/> 未達成	訪問時なども、個人情報が出ていないか確認できないうかがあった。			

課題項目		今年度の行動目標・到達目標	達成状況 (該当を■)	1. 達成状況の根拠・理由	2. 今後の改善策 (一部未達成・未達成)	改善完了時期	完了確認				
3 個人情報 の保護	③ 個人情報の扱いに関する規程等があり、順守されるよう取り組んでいる。 * 研修・勉強会の開催、掲示・資料配布等 パソコン・メモリーの使用 スマートフォン接続 個人情報の持ち出し時の手順 個人情報の廃棄手順 個人情報の提供手順	・個人情報の取り扱いに関する規定があり、周知をする。		・職員への周知のため、所内会議にて規定の読み合わせをした。							
4 利用者満足 の向上	① 苦情対応体制を組織として整備し、内容や対応策を記録を残し再発を防止する ② センターが受けた介護サービス等に関する相談について、市へ報告や協議の仕組みを構築する	・苦情があった場合は、市への報告、共有の場を設け、再発防止に努める。	■ 達成 □ 一部未達成 □ 未達成	・事案が出た場合、本部への相談や、市への報告を行った。 ・介護サービス等における相談については、市の担当へ相談、報告をした。							
5 職員の資質 の向上	① 県や市、医療機関等が主催する講演会・研修会に職員が参加しているか？ ② 医療関係者と合同の事例検討会に参加しているか？ ③ 地域包括支援センター独自あるいは委託法人による研修等を実施・参加し、職員の資質を向上	研修の内容や業務量を考慮し、研修に参加をする。 個別ケア会議へ医療関係者に参加してもらい、意見交換ができるようにする。 法人内または包括で研修を実施し、職員の資質の向上を図る。	■ 達成 □ 一部未達成 □ 未達成	・専門性や興味があることを考慮し、積極的に参加をした。 ・地域ケア個別会議にて、作業療法士や看護師と事例を共有し、支援方針を検討した。							